

事項	ぶどう「ノースレッド」の1回目摘心時の副梢の取り扱い方		
ねらい	「ノースレッド」の慣行栽培では、1回目の新梢摘心時に副梢は上位から2本残し下位を摘除しているが、副梢を上位1本残し下位を摘除した場合を検討した結果、熟期は遅れるものの、収量・品質とも大きな差がなく、2回目以降の摘心作業の時間短縮となったので参考に供する。		
指導 参考 考 内 容	<p>1 副梢1本区では、2回目以降の摘心作業・誘引作業の省力化が図られ、副梢2本区に対して、摘心時間は2割程度削減できた。</p> <p>2 副梢2本区では着粒密度は高くなるが、果粒が小さくなり熟期が遅れる傾向がある。</p> <p>3 省力化を前提にした場合、1回目の摘心で上位1本の副梢を残しても良い。</p> <p>4 1回目の摘心方法</p> <p>(1) 摘心時期 開花1週間前頃～開花直前</p> <p>(2) 摘心部位 第1花穂の上位4葉</p> <p>(3) 副梢の取り扱い 上位1本を残し、下位は全て摘除</p>		
期待される効果	作業の省力化が図られる。		
利用上の注意事項	副梢1本は副梢2本に比べ、1新梢当たりの総葉枚数が10枚程度少ないことから熟期がやや遅れるので、収穫期を誤らないようにする。		
担当	青森県りんご試験場 県南果樹研究センター 栽培育種部	対象地域	県下全域
発表文献等	平成11～12年度 落葉果樹試験研究成績概要集（栽培） 平成11～12年度 青森県りんご試験場県南果樹研究センター成績概要集		

【根拠となった主要な試験成績】

表1 区別の新梢長及び摘心作業時間

(平成11年 青森りんご試県南果研セ)

区	新 梢 長 (cm)		10 a 当 たり 摘 心 作 業 時 間 (時間)			
	開 花 前	落 葉 時	1 回 目	2 回 目	3 回 目	合 計
副梢 1 本	122.2	184.4	13.7(130.5)	17.1(57.4)	17.7(89.4)	48.5(80.7)
副梢 2 本	121.7	288.1	10.5	29.8	19.8	60.1

注) 2.5m×2.5m植え、一文字片側整枝短梢剪定樹(表2も同様)  
作業時間の( )内の数字は2本区を100とした場合の割合

表2 区別の果実品質

(平成11年 青森りんご試県南果研セ)

区	果房重 (g)	果 色	粒 数 (粒)	着粒密度 (粒/cm)	1粒重 (g)	糖 度 (%)	酸 度 (%)	着色始め
副梢 1 本	175.1	4.4	39.8	3.8	3.9	16.0	0.53	8月25日
副梢 2 本	160.4	4.7	32.6	3.5	4.6	16.2	0.58	8月23日

注) 果色は1:黄緑、2:淡紅、3:淡鮮紅、4:鮮紅、5:濃鮮紅  
糖度はBrix、酸度は酒石酸換算(表4も同様)

表3 区別の新梢長及び摘心作業時間

(平成12年 青森りんご試県南果研セ)

区		新 梢 長 (cm)		10 a 当 たり 摘 心 時 間 (時間)			
整 枝	副 梢	摘心前	落葉後	1 回 目	2 回 目	3 回 目	合 計
片 側	1 本	88.9	237.9	8.9( 93.7)	11.1(61.7)	7.1(67.0)	27.1(71.1)
片 側	2 本	87.8	340.0	9.5	18.0	10.6	38.1
両 側	1 本	81.6	214.1	11.0(126.4)	14.2(66.0)	9.4(62.3)	34.6(76.4)
両 側	2 本	94.0	398.3	8.7	21.5	15.1	45.3

注) 2.5m×5m植え、一文字整枝短梢剪定(表4も同様)  
摘心作業は、誘引時間を含み一人で実施  
作業時間の( )内の数字は各整枝区の2本区を100とした場合の割合

表4 区別の果実品質

(平成12年 青森りんご試県南果研セ)

区		房 重	着 色	粒 数	着粒密度	粒 重	糖 度	酸 度
整 枝	副 梢	(g)			(粒/cm)	(g)	(%)	(%)
片 側	1 本	197.2	4.2	48.7	5.11	4.4	16.6	0.69
片 側	2 本	210.3	4.8	50.3	4.54	4.6	17.5	0.66
両 側	1 本	213.5	3.9	48.5	5.55	4.7	15.8	0.68
両 側	2 本	150.0	4.4	35.1	4.01	4.6	16.3	0.74